

6/12  
(金)

## 田尻公民館が県知事賞 若者が定着できる地域づくり

県が地域資源などを活用した快適で魅力あるむらづくりに取り組んでいる団体などに対して表彰する「令和元年度鹿児島県共生・協同の農村づくり運動表彰」において、田尻自治公民館が農村集落部門で県知事賞を受賞しました。

同公民館は農業基盤の整備など若者が定着できる地域づくりのほか、花壇の植栽作業やスポーツ行事など世代を超えた活動に取り組んできました。これらの活動が認められ、今回の受賞となりました。

6月12日、川添町長に受賞報告した上窪正志館長は「今後も皆さんと協力して、一つひとつ取り組んでいきたい」と話しました。



川添町長に受賞報告した上窪館長(写真左)

6/18  
(木)

## 国の緊急対策事業 給食でブリの消費を応援

町内の小中学校で6月18日、給食に東町漁協の養殖ブリが提供され、児童たちは地元の味に舌鼓を打ちました。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で出荷が停滞した魚の消費を支援するために、学校給食に魚を提供する国の水産物販売促進緊急対策事業の一環です。出荷量が前年の約4割減となった同漁協の養殖ブリは本事業の対象となり、全国に先駆けて実施されました。

川床小学校(松永貢校長・103人)では、4年生21人が「ブリのネギ塩焼き」を味わい、皮まで完食。久保正太郎君は「ブリが1番好き。脂が乗っておいしい」と満面の笑みで話しました。



脂が乗ったブリを堪能する児童たち

6/29  
(月)

## 大規模災害時応急対策に関する協定 応援体制の強化図る



調印後に協定書を手にする川添町長と鶴長支部長(写真前列右)

町は6月29日、県建設業協会出水支部との間で大規模災害時における応急対策に関する協定を結びました。

この協定は、災害が発生または発生する恐れがある場合に、町の要請により同支部が公共施設の被害情報収集や障害物の撤去、応急復旧など対応します。

調印後に川添町長は「町だけでは処理できない大規模災害が発生した場合に、安心して皆さんの応援をいただきたい」とあいさつし、鶴長親雄支部長は「地域の安心安全を守る一番手ということを自覚し、連絡があればいつでも駆け付ける」と抱負を述べました。